

文協通信

第87号
2025・8・1

(発行)高野 宗佳

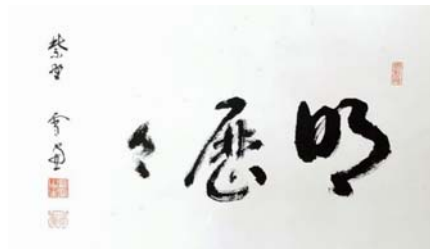
(一社)町田市文化協会

(編集)竹井鶴迢

題字・平野南秋

立秋に想う

(一社)町田市文化協会会長 高野 宗佳



大徳寺五〇六代管長 小田雪窓 老大師

令和七年七月は異常気象といわれ、猛暑日が続きました。皆様には恙なくお過ごしのことと拝察申し上げます。

「暑さも寒さも悲喜何れも今日かざりと思えば障りなく凌ぐことが出来る」という禅の教えを念頭に、日々は過ぎまして気が付けば立秋…でございました。その夕べは大層な風情の名目で、ふと古今集の和歌が浮かびました。

木の間よりもりくる月の影見れば

こころ尽くしの秋はきにけり

さて、六月末に当協会は定時社員総会を無事に終えることが出来ました。セレモニーでは櫻井副市長をはじめ木目田議長とご来賓の皆様にご挨拶も頂くことが出来まして、二部の懇親会では賛助会員の皆様とも共に、和やかな時を過ごさせて頂き、愈々令和七年度は本格的に始動となりました。

第47回秋の文化祭～かがやく未来へ～の準備にも余念なく、新春文化の祭典in鶴川、春の文化祭「市美展」と当会三大事業を始めとして、各団体もそれぞれ活動は活発で、何れも多くの市民の皆様に諸文化に親しんで頂けますよう努めております。

これからも多くの方々との出会いに感謝し、更に町田市の文化の発展に繋がりますよう、文化協会として充実した日々を過ごせますように精励をする所存でございます。

引き続きご指導ご鞭撻の程お願い申し上げ、皆様のご清安を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

「文化」との出会い

(一財)町田市文化・国際交流財団 専務理事 宗田 隆由

私が財団に来たのは今から8年前の2017年4月、ちょうど高野会長が町田市文化協会の会長になられた年です。それまでは町田市役所で主に技術系職場で育った私は「文化」の経験がなかったので、財団では何をしたらよいかわからず不安を持っていました。今だから言えますが、当時は高野会長とも面識はなく（お名前だけは存じておりましたが・・・）文化協会の存在すらも知らなかった状況でした。当然、当時一緒にやっていた職員も大変だったと思い、今も感謝しています。



最初に和光大学ポプリホール鶴川の館長を拝命し、そこから目には見えない「文化」とのお付き合いが始まりました。毎日がそれまでの市役所生活とは全く違う世界で、楽しく？充実した時間を過ごすことになりました。特に茶道・華道に触れる機会は多く、優しい先生方のおかげで大変貴重な経験をさせていただきました。華道は妻が少しやっていたこともあり、触れる機会はありましたが、茶道は経験がなく、大変ハードルが高いものと感じていましたが、高野会長から優しく声をかけて頂き、不安ながらも体験してみたら、今では月例茶会や文化祭等の茶会に参加できるまでになりました。このように気軽に参加できる機会を増やし、誰でもがいつでも触れることができるようになれば、「文化」をもっと身近に感じる事ができるようになります。今では、「文化」とはやってみること・触れてみる事が一番大事であることを実感しています。

このように「文化」に素人であった私をお許し頂き、声をかけてくれた文化協会の皆様の懐の深さに感謝するとともに、皆様の益々のご健勝と協会の発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。

令和7年定時社員総会が開催されました。

令和7年6月29日（日）10：00より町田市民ホール第四会議室

出席 66人（委任状含む）総社員数 68人 第1号議案、第2号議案が承認されました。

NPO法人 町田演劇鑑賞会第219回例会「おんやりょう」を鑑賞して

(一社)町田市文化協会副会長 竹井 敏夫



ありました。たまには演劇も良いなと思わせていただいた機会となりました。

今回、初めて演劇鑑賞会の例会に参加し「おんやりょう」を鑑賞しました。思えば過去の人生の中で演劇を見たという記憶がありません。ご縁があり、今年演劇鑑賞会に加入し最初の鑑賞が「おんやりょう」になりました。劇の内容はとても分かりやすいもので、地方の消防署の消防士と救命士の仕事の中の葛藤を描いた作品で、シリアスに時にコミカルに面白い劇では



師の教え

町田茶道会 大谷 宗光



昨年末、30年ご指導いただいた茶道の先生が稽古場を閉じられ、師のいない状態となりました。以来、点前からも遠のき、町田茶道会の月例会茶会が唯一の茶の湯の世界に浸れる場となっています。茶の湯との出会いは、妻が茶を習っていて、送り迎えをしているうちに割稽古から、ということになり、この世界に入りました。ご多分に漏れず、正座が最初の関門でした。少し慣れてくると、点前の順を少しずつ覚え、滞らず間違わずにできるようになってきた頃に、点前は順を学ぶだけでなく、その奥にある相手を敬う心が大切であることを繰り返し説かれるようになりました。日々の暮らしの中でも、そうした茶の湯の心を思い起こすようにして過ごすこと、忙しい時こそ稽古は休んではいけないこと、など幾たびも諭されました。お茶会に行く時なども、茶席というものは自分ひとりで完結する場ではなく、一緒にいる周りの人を思いやる気持ちが何よりも大切、とその都度説かれました。

こうした教えを心に留めて、これからも茶の湯の道を一步一步進み続けていきたいと思っています。茶道に巡り会えたことに感謝しています。

第18回 西園にて新緑と楽しむ茶会

町田茶道会総務 舘山 宗春

町田市と町田茶道会とのおもてなし協働事業のお茶会が、4月26日(土)町田薬師池公園西園四季彩の杜にて開催されました。

町田市との協働事業は平成19年度から始まり18回目となります。当初は薬師池公園フォトサロン前芝生広場から始まり、都の有形文化財の旧萩野家住宅でも開催致しました。

現在は四季彩の杜西園に会場が変わり、芝生広場にお茶席を設え町田茶道会の先生方やお社中の皆様、茶道部の高校生によるおもてなしを致しております。ラボ体験工房ではお茶を点てる体験を楽しんで頂いており、市民の皆様にお茶に親しんでいただきたいと願っております。

今年もイベントシステム等でお申込み頂いた皆様やお子様にご来場下さり終日賑わいました。前日準備から当日朝の準備、後片付けまで、町田市、町田市文化・国際交流財団、ボランティアの皆様のご協力が無事終わることが出来ました。



参加者 芝生広場 256名
ラボ体験工房 74名

町田市民謡協会

令和7年4月29日(火・祝) 町田市民ホール
第43回演奏大会が開催され、コンクールで喉を競った。



町田市吟詠連盟

令和7年6月8日(日) 南市民センター・夏季吟詠大会を開催



岩田マンドリーノ・シンフォニカ

令和7年6月15日(日) 町田市民ホール
第62回演奏会が開催され、満員の大盛況でした。
能登災害への義援金も20万円以上寄せられました。



令和7年度 町田市文化功労受賞者のご紹介 (敬称略)



5月11日 文化交流センター

ハワイ音楽とフラを楽しむ会

高橋 豊 (岩田マンドリーノ・シンフォニカ)

鈴木 螢梢 (町田華道協会)

土井美智代 (町田楽友協会)

菅谷マスミ (町田楽友協会)

有賀 仙陽 (町田茶道会)

館山 宗春 (町田茶道会)

大野 悦子 (東京都町田市フラ協会)

斉藤恵津子 (音楽の泉)

紫桃 弘美 (町田演劇鑑賞会)

令和7年 第47回 かがやく未来へ

町田市民文化祭 “秋の催し”

10月29日(水)～11月3日(月・祝)

個人・団体情報

■町田茶道会

*月例茶会(予約制)

席数は4回、お席は2席続けてお入り頂けます。

9月21日(日)

「広間席 山吹」 席主：大日本茶道学会 有賀仙陽

「立札席 けやき」 席主：裏千家 床呂宗葉

10月19日(日)

「広間席 山吹」 席主：裏千家 北見宗晴

「立札席 けやき」 席主：裏千家 伊藤宗園

時 間：①10:00 ②11:20 ③12:40 ④14:00

会 場：プラザ町田ビル(町田市文化交流センター5階)

お茶席代：2,500円

問い合わせ・申し込み

TEL 044-988-1757(事務局)

MAIL machida.sado@gmail.com

■町田華道協会

第72回町田華道協会展

令和7年10月4日(土)～5日(日) 10時～

町田市文化交流センター6階ホール

■町田演劇鑑賞会

演劇鑑賞会設立40周年記念事業

記念講演会「劇団俳優座 岩崎加根子氏講演」

令和7年10月17日(金) 14時～

町田市文化交流センター6階ホール

■MOA美術館町田みんなの児童作品展

令和7年10月24日(金)～10月26日(日)

町田市立国際版画美術館

令和7年10月28日(火)～11月1日(土) 午前

町田市立病院

一般社団法人 町田市文化協会

住 所：〒194-0022 東京都町田市森野2-2-36
町田市民ホール内

TEL/FAX：042-850-8422

Mail：machida.bunka@gmail.com



文化協会ホームページ